

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立夕日寺小学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注 1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注 2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他（例：小中高一貫 _____）
※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む
所在地 〒920-0822
石川県金沢市東長江町に17番地
E-mail yuuhidera-e@kanazawa-city.ed.jp
Website _____
幼児児童生徒数 男子 146名 女子 142名 合計 288名
幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「自ら学び、心豊かでたくましく、創造的に生きる児童の育成」を教育目標として、ESDの実践を通して「他と関わり合い、多様性を尊重する態度などこれからの社会で必要とされる基礎の力」などの育成を教育方針とした。

具体的には、「総合的な学習の時間の充実」「児童の主体的な活動の充実」「実践成果の発信及びネットワークづくりの推進」を柱に取り組んだ。

① 総合的な学習の時間の充実

総合的な学習の時間では、各学年が地域や身近な自然・社会・人・文化をテーマに学習している。

5年生では様々な加賀野菜について勉強し、地域の方に教えていただきながら育てた。今年は地元の伝燈寺さといも作りにチャレンジし、55kgも収穫することができた。

6年生ではビオトープ活動を通してふるさとへの愛着を深めたり、金沢の歴史や伝統を学び、進んで金沢の魅力を発信したりできるようにしてきた。

②児童の主体的な活動の充実

毎年運営委員会が全校に呼びかけて「エコキャップ集め」をしている。4月から12月までの間に、約2万4千個のエコキャップが集まった。集まったエコキャップを数えるのは時間もかかり大変だが、多くの人の命を救うことになるので、続けていきたいとのふり返りが見られた。

7月の金沢「絆」の日には、「クリーン大作戦」として自分たちが住んでいる町の公園や道路のごみを拾った。そして11月には「落ち葉拾い大作戦」として地域の落ち葉を拾い、集めた落ち葉をビオトープの木の根元に巻いて肥料にした。落ち葉でいっぱいになったゴミ袋は重くて、運ぶのも大変だったが、地域の方に「ありがとう。」と言われて、とてもうれしかったとのふり返りが見られた。

③実践成果の発信及びネットワークづくりの推進

総合的な学習の時間や生活科での各学年の取組内容がわかるように掲示し、全校児童が自分の学年だけでなく、全校の取組を意識できるようにしている。

また、学習したことを異学年に対して発表することで、わかりやすく伝える意識をもった発表になるとともに、「夕日寺のひと・もの・自然」を共通テーマに全校児童が学習していることを確認する機会にもなった。



① 総合的な学習の時間の充実
(5年：伝燈寺さといもの収穫)



① 総合的な学習の時間の充実
(6年：ビオトープの整備)



② 児童の主体的な活動の充実
(全校児童：落ち葉拾い大作戦)



③ 実践成果の発信
(6年→5年：学習発表会)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・ のびゆく金沢
- ・ はなやか金沢
- ・ かなざわ育ちの野菜果物
- ・ ユネスコスクール公式ウェブサイト
- ・ Yahoo! きっず

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・金沢ユネスコスクール加盟校として、環境教育を中心に、他の教科との関連を図り、系統性のある全体計画を作成し、課題解決型の学習過程を重視したE S D教育を推進している。
- ・総合的な学習の時間では、全学年を通して、つけたい資質や能力（「つかむ力…気づきや思い、疑問などを出し合い、見通しを持って適切な課題を設定する力、調べる力…自分の課題を解決するための計画を立て、追究方法を選んだり工夫したりして調べる力、考える力…得られた結果を比較、関連づけて考え、まとめる力、伝える力…自分が調べたことや自分の考えを効果的な方法でわかりやすく表す力など）を明確にし、計画的な指導と評価を実施している。
- ・金沢「ふるさと」学習を学習する（1, 2年は、生活科、3～6年生は総合的な学習の時間で行う）。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・教育課程編成を教職員全体で行い、活動後の反省を次年度の教育課程編成に生かしている。
- ・全学年の取組内容がわかるようにE S Dカレンダーを掲示し、全校児童が自分の学年だけでなく、全校の取組を意識できるようにしている。
- ・学習したことを異学年に対して発表することで、発表する児童は意欲が高まり、発表を聞く児童には自分たちの学習に生かすことにつながっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校活動の評価として「教員アンケート」を年2回行っている。具体的には「主体的・協働的な学習を通して、児童が考えを広げたり深めたりしている」という項目に対し、話し合い活動について2つの努力目標を掲げ実践している。

成果としては、どの授業においても話し合い活動が取り入れられ、児童が主体的に参加し、考えを広げたり深めたりしている姿が見られる。課題としては、児童が自分の考えを伝える際、より相手にわかりやすくするためにどうしたらよいかを考えさせていく必要がある。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

・全学年の取組内容がわかるように ESD カレンダーを掲示し、全校児童が自分の学年だけでなく、全校の取組を意識できるようにしている。
・金沢ユネスコスクールこどもサミットにおいて、取組内容をまとめたものを発表する機会があった。本年度は大雪のため、こどもサミットは中止となったが、校内で発表する機会を設けた。この発表によって、自分たちの取組が学年単独のものではなく、夕日寺小学校の取組としてつながっていることを、児童は自覚することができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）（２００字程度）
※チェック事項 2-3 に対応

学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成として、当校では家庭・地域社会との連携が挙げられる。具体的には「地域教材やゲストティーチャーとしての地域人材の活用」「地域の人々や保護者との意見交換や協力」などがある。５年生では地域の方に米作りや野菜の育て方を教えていただき、今年度は地元特産の「伝燈寺さといも」を栽培・収穫することができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成の実績がない当校では、将来的な交流のためのネットワーク構築に向けて、先進校の取組を学んだ。

具体的には「ユネスコスクール ESD 優良実践事例集」にある富山市立中央小学校の「ESD の考えを生かした教育活動・学習活動の推進」や多摩市立連光寺小学校の「連光寺 SATOYAMA・SATOYAMA プロジェクト」が参考になった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

教員の「課題解決型の学習過程を重視した授業」を行う意識が高まった。本年度は児童の話し合い活動に焦点を当て、話し合いの目的を児童が共有し、より主体的に学習に取り組むことができるようにした。
具体的には「話し合いカード」を板書に位置づけ、話し合いの目的を明確化することで、話し合い活動が活性化し、その中で出た考えを児童が積極的に発表する姿が見られた。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

- ① 総合的な学習の時間の充実
3 年：自然とのつながり～森と生き物、人とのつながり～
4 年：自然と人間の営み～金腐川の自然～
5 年：自然とつながろう～野菜を育てよう・生き物と私～
6 年：里山再生から人の生き方へ～ビオトープ活動の発信と交流～
- ② 児童の主体的な活動の充実
- ・あいさつ運動
 - ・エコキャップ集め
 - ・クリーン大作戦
 - ・落ち葉拾い大作戦
- ③ 実践成果の発信及びネットワークづくりの推進
- ・「総合的な学習の時間」「生活科」で作成した成果物の掲示
 - ・学習したことの異学年交流
 - ・ESDカレンダーの掲示